

## 【水の里の旅コンテスト2016 応募企画】

【学生部門】

長野大学環境ツーリズム学部 高原 慶伍

清流を巡る美の水郷セラピー

～「綺麗」を映し出す湧水の郷リフレッシュプラン～

観光地域：新潟県南魚沼市（六日町、浦佐）

【日程】	1泊2日		
【実施時期】	秋		
【催行人員】	24名（最少催行人員：15名）	【お勧めする旅行者層】	仕事や家事で建物内に籠ることが多い20～30代の女性、かつ、南魚沼市で宿泊を予定している女性
【旅行代金】	27,000円 (大人1名)	【内訳】	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型バスチャーター代（2日目のみ：5,500円）</li> <li>・六日町温泉施設1泊夕食・朝食付き（18,000円※各宿泊施設によって変動あり）</li> <li>・湧水スポットガイド料（500円）</li> <li>・浦佐やな場（昼食代：3,000円）</li> </ul>	
【企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント）】			
<p>企画テーマ：宿泊予定のお客様の明日をおもてなし、水の郷へご案内 対象エリア：六日町・浦佐（南魚沼市）</p> <p>日頃の仕事や家事の疲れを感じる中、日常から少し離れた自然景勝地で、心身を癒すための旅行を考えている女性向けのリフレッシュプランです。その中でも、「湧水」という新潟県南魚沼市ならではの魅力とも言える天然の水資源を推奨し、水と大地の恵みによって栄えてきた地域で、人と水の繋がりを身体で感じることが出来ます。米や酒、その他料理に用いられる南魚沼市の天然の水と食事、そして空気を身体に取り込むことで、身体の中の老廃物やストレスを排出し、身体の芯から活力を湧かせるような天然ケアを、南魚沼市の水がもたらしてくれるのです。</p> <p>南魚沼市は町を南北に貫く魚野川に沿い、上流から塩沢、六日町、浦佐の大きく3つの地域に分けられます。旧三国街道の宿場町として賑わい、現在は日本一の米と越後上布で広く知られる塩沢。魚野川舟運の終着点として栄え、今も鮎をはじめとする清流の恵みを受ける六日町。毘沙門堂の雪と炎の奇祭、「裸押合大祭」と越後三山をはじめとする山々からの伏流水が豊富に湧き出す浦佐があり、それぞれの地域は、巻機山や八海山に降り積もった雪から流れ出る雪解け水が、魚野川やその他河川、湧水となって古くからの農業や産業生活に支えてきました。このように天然の水との関係が深いまちで、地域の特色に触れつつも水の有難みを実感することが出来ます。本プランでは主に六日町エリアと浦佐エリアを対象にし、南魚沼市での宿泊を予定しているお客様の翌日のプランをおもてなし致します。</p>			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
川や山々を訪れるときは、危険が伴いやすいため、天候や気候の様子やお客様の体調を伺うことに配慮する。旅行前の規約や保険加入などへの同意・承認を勧める。		お客様のリフレッシュ度を高めるための配慮をする。リピーターとして再来してもらうために、お客様の不満・要求が出る前の配慮と対応に準備が必要となる。ご意見を頂いた段階で、顧客リストを作成し、それぞれの情報保管も快適さを生み出す一つの手立てになる。	
【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
① 六日町温泉組合（予定）	朝ごはんプロジェクトの連携（宿泊・朝食）	⑤	
② 一般社団法人 南魚沼市観光協会（予定）	神社・湧き水スポットのガイド	⑥	
③ 浦佐やな場	昼食	⑦	
④		⑧	
【特記事項】	女性が働く場の多い民間企業や、館内・施設内での事務処理業務の多い企業を中心に本プランの宣伝を提案。また、女性が多く訪れることの多い場所に宣伝や、女性向けネットサービスとの連携で広告に注力する。		
【催行実績】	無し		

【 行 程 表 】

<p>1 日目</p>	<p>17:00～① 六日町温泉集合（朝ごはんプロジェクト実施の温泉施設：例・ほてる 木の芽坂）、各自チェックインを済ませてもらいます。 18:00～① 旅館内での地元の幸と温泉を満喫。</p>
<p>2 日目</p>	<p>7:00～② 六日町温泉で朝食。郷土食「きりざい」に込められた生活の知恵、南魚沼きりざい井を堪能。 8:30～③ 小型バスに乗り、湧水スポット金剛霊泉のある八海山尊神社を巡ります。ガイドの説明があります。 10:30～③ 湧水スポット滝谷の清水のある大崎神社へ移動します。このときもガイドの説明があります。 12:00～④ 浦佐やな場で昼食。南魚沼市の川の恵みを味わってもらいます。 13:30～⑤ 湧水スポット雷電様の水のある藤原神社へ移動します。ガイド説明と湧水試飲など。 15:00～⑥ 魚沼の里で自然を感じ、カフェやお土産など旅の最後のリラックスとなります。南魚沼市名産の日本酒もおすすめです。 17:00～ 六日町温泉（1日目の集合場所）に移動し、解散。</p>

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来など） 】

【 ポイント1 】	【 ポイント2 】	【 ポイント3 】
<p>【コメント】 ① 六日町温泉（宿泊）</p> <p>温泉旅館・ホテルが川沿いと峠の麓に温泉資源と自然環境に恵まれた国民保養温泉地です。旅館・ホテルそれぞれに風情ある入浴設備があります。豪華な夕食だけではなく、六日町温泉組合にいがた朝ごはんプロジェクトに加盟している施設（温泉御宿龍言、ほてる木の芽坂、旬彩の宿坂戸城、いろりあん、割烹旅館 日章館、金誠館グレースコートアリス、越前屋旅館、ぬくもりとやすらぎの宿越路荘、心と体の保養の宿、龍氣）で郷土料理の「きりざい井」を朝食で楽しむことができます。</p>	<p>【コメント】 ② きりざい井（朝食）</p> <p>南魚沼で昔から食べられている郷土料理で、南魚沼産コシヒカリに野菜や漬物を細かく切って納豆と混ぜたものを乗せて食べます。冬の間食糧が無かった時代に、貴重なたんぱく源である納豆を足して食べられるように、お婆ちゃんの知恵から生まれた料理です。市内のきりざい井ののぼりがある飲食店や六日町温泉組合加盟施設などで食べることが出来ます。この「南魚沼きりざい井」をご当地グルメとして、まちおこしのきっかけにしようという活動もあります。</p>	<p>【コメント】 ③ 金剛霊泉（湧水スポット）</p> <p>八海山（はっかいさん）は、越後三山の表口にあたる主峰の一つで、標高1,778メートルの山岳信仰の山です。その八海山中腹の岩盤から湧き出ているのが「金剛霊泉」です。昔より修験道の喉の渇きを潤し活力をもたらす命の水として尊ばれてきました。</p> <p>◎大崎滝谷の清水（湧水スポット） 「滝谷の清水」は、八海山の麓、大崎地区にある大前（おおさき）神社にあります。大前神社は、大崎村の総鎮守で、平安時代に制定された「延喜式（えんぎしき）神名帳」に記載されている由緒ある神社です。そのため、全国的にも珍しい平安時代の三番猿楽の古い形を残す民俗芸能「翁式三番（おきなしきさんば）」が伝えられており、県の無形民俗文化財に指定されています。 社殿の後ろに控える鎮守の森に、「滝谷の水」の原水が流れており、多くの人が水を汲みに訪れる人気スポットになっています。</p>

【ポイント4】	【ポイント5】	【ポイント6】
<p>【コメント】</p> <p>④ 浦佐やな場（昼食・川魚料理）</p> <p>水流をせき止めた川の瀬にスノコを張り、魚を捕るヤナを体験し、取った魚を食べられます。スノコの上で跳ねるアユを手掴み出来ますし、川魚をその場で調理してもらい新鮮なうちに食べることが出来ます。</p>	<p>【コメント】</p> <p>⑤ 雷電様の水（湧水スポット）</p> <p>南魚沼市のJR六日町駅、関越自動車道六日町ICから見て北東方面に藤原という地区があり、その田園地帯の中に藤原神社があります。その境内には、お清め水として御神水が噴出しており、八海山系に連なる桂山の裾野から噴出す湧き水を引いています。神社の裏手に行くと、桁の大樹が聳え立ち、その大樹の周りは山の岩肌から流れ出る数々の滝が見られます。</p>	<p>【コメント】</p> <p>⑥ 魚沼の里（お土産）</p> <p>昔ながらの知恵を活かし、四季の喜びを感じながら自然と寄り添う暮らしや、雪国の文化を通じて、郷愁とやすらぎ、を感じていただきたいとの思いから誕生されました。カフェ、売店、キッチン雑貨店等を併設した「八海山雪室」、「そば屋長森」、菓子処「さとや」など、心安らぐスポットが点在し、お土産スポットとしても最適です。</p>